



東京米穀取引成規

5
1

900



114
A 3705



大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

東京米穀取引所成規

當取引所營業ノ順序ハ株式取引條例ニ準據スヘキ事
勿論タリト云凡其種類ノ殊異アルヨリ取引所肝煎並考
案ヲ以テ當分ノ中官府ノ文裁ヲ乞フテ之ヲ定メタル取引成
規ノ條款如左

米穀賣買約定ノ事

第一條

當取引所ニ於テ賣買スヘキ米穀ハ武在米ヲ建米トシ拾石ヲ
以テ切手一通ト定メ一通以上何通ニテモ賣買双方ノ望ニ任
セテ約定ヲ為ス可シ

第二條

賣買ノ約定期限ハ三月ヲ踰ユ可ラスト並モ遠國ニテ賣買ケ

タル品ヲ東京ニ運輸スル為ノ事實時間ヲ要スル分ハ猶
ニ月ヲ定シテ約定セシムルヲアルヘシ但シ時日ヲ期セサル賣買
ノ約定ハ現場勘定ト見做スヘシ

第三條

約定期限中賣買双方トモ之ヲ賣戻シ又ハ買戻シテ欲セ
ハ其時ノ相場ニヨリテ之ヲ仕戻スヲ得ヘシ然ル時ハ兼テ其
者ヨリ預リタル証拠金ハ其相場ニ照シテ決算シ之ヲ戻ス
ヘシ故ニ取引所ノ賣買約定ニ取組タル賣買双方ニテ
其取引ヲ遂ゲルヲ要セス満期迄其約定ノ保ツ者ニ真ノ
取引ヲ為ストスヘシ

第四條

約定ハ右建米ヲ以テスト云凡取引ノ節ハ代米ヲ用ユルヲ

得ヘシ尤モ其代米價格ハ取引所ニ於テ定タル格付ケノ通り
タルヘシ但シ此格付ケハ毎年ノ豊凶ニ隨ヒ取引所ニ於テ集議
ノ上之ヲ決定スヘシ

証拠金并追証拠金差入方之事

第五條

當取引所ニ於テ賣買ノ約定ヲ為シタル上ハ株式取引條例
ノ趣意ニ從ヒ約定金高ノ貳割五分宛^{二分五}ヲ賣買双
方ヨリ差入ルヘキ筈ナレ凡當分ノ間ハ當日ノ相場ニ見合セ
壹割宛^{二分}分ノヲ其當日半高翌日半高ツニ割合ヒ双方ヨ
リ差入レ尚相場ノ昂低ニヨリテ凡ソ其半高ヲ損スルニ當
ラハ取引所ヨリ賣方又ハ買方ニ達シ幾度ニテモ追差ヲ為
サシノ常ニ此割合ニ減セサラシム可シ尤モ取引所ノ額取肝煎ハ

此證拠金ヲ貳割五分ノ割合ニ至ラシムルニ尽カスヘシ但
シ此證拠金割合ハ便覧ノ為メ其時々ノ米價ニ見合セ
本條ノ割合ヲ目的トシテ切手一通ニ付何程ト常ニ取
引所ニ揭示シ置ヘシ

第六條

若シ賣方又ハ買方ニテ此證拠金ノ半高賣買約定ノ翌日
差入レキ分追證拠金ヲ差入レサレハ取引所ニ於テ其日ノ相場ヲ以テ
社負取締ノモノニ之ヲ賣戻シ又ハ買戻シ方ヲ為サシメ前ノ
證拠金ヲ以テ充塞スヘシ

第七條

取引所ヨリ出スヘキ證拠金ノ預リ切手ハ都テ其賣買ヲ為
シタル社負ノ名宛略先ノ注文
品タリタルヘシ且此預リ切手ハ他ヘ低

當物ニ出シ又ハ質物ニ入ルヲ許サス都テ其決算ノ節ニ切手ハ
取引所ニ返附スヘシ

第八條

若シ此切手ヲ紛失セシ者ハ速ニ之ヲ取引所ニ申出テ約定
期限後三月ヲ経テ猶之ヲ發見セサレハ證人連印シタル
始末書ヲ取引所ニ受取り先キニ預リタル證拠金ハ當人ニ
返シ渡スヘシ但此切手紛失セント云テ期限中賣買戻シ
及満期取引ノ節ハ切手所持ノ分ト同様タルヘシ

第九條

非常ノ事故アルカ又ハ不得止ノ差支アリテ取引所ノ業体ヲ
七日以上ノ休業ニ至ル時ハ賣買双方ヨリ信證拠金ヲ
出サシムヘシ休業中ニテモ双方ハ示談ニテ賣買戻シハ勝手タ

ルキニ付右示該ヲ為シタル分ハ其次第ヲ取引所ニ届出テ
其決算ヲ乞フヘシ

第十條

賣買上半証拠金差出方左ニ

一 百通以上半証拠金

生納日ニ係ハラヌ翌日相場
立會前ニ差入ルヘシ

一 貳百通以上半証拠金

即日差入ルヘシ

賣買証拠金預リ手形ハ損益決算相立後上ハ當人持手
仕切金ト引換フル勿論タリ若返附遅滞スルモノハ其者ノ
計算表并顛末ノ趣ヲ社中ニ揭示シ後日其預リ手形
ノ証拠ナキモノトスヘシ尤紛失届ケ差出セシハ該例ニマラス

第十一條

取引所ノ証拠金并代金ハ都テ銀行ノ切手ヲ以テスヘシ

若シ正金紙幣ヲ望ム時ハ前以テ其引合ヲラシテ銀行切
手ト引替ヘ之ヲ拂ヒ渡スヘシ

手数料取立方之事

第廿二條

當取引所ニ於テ約定シタル米穀賣買手数料ハ左ノ通
リ相定メ右賣買ノ分決算ノ節之ヲ取引所ニ取立ツヘ
シ

定期取引手数料

賣買実額百圓ニ在ル概々

現場取引手数料

同 拾弍%

右ノ定限ヲ以テ其時々ノ賣買高ニ應シ双方ヨリ同高ヲ
受取ル可シ但シ便覽ノ為メ建米切手一通ノ相場ニ見
合セ本條ノ手数料割合ヲ以テ切手一通ニ付定期現場

トモ手数料何程ト常ニ取引所ニ揭示シ置クニ
客先ヨリ社貞ニ受取ルヘキ手数料終テ取引所手
料三分一ヲ越スヘカサルヘシ

米穀受渡之事

第十三條

賣買約定ノ米穀期限ニ至リ受渡シト為リタル分ハ其月
末ノ日午後第四時限リ賣方ハ右米穀蔵所銘柄ノ
書件買方ハ其代金九分通り畑分ノヲ取引所ニ持来ス
ヘシ然時ハ取引所掛リ者右賣買主ニ立合フテ翌日蔵所
俵數ヲ見分シ蔵守ヨリ預リ手形ヲ取り其先分ニテ
米ハ適當ト定タル分ハ九分金ヲ賣方ニ渡シ残リ一
分通り并證拠金ハ蔵出し相濟ミタル上ニテ取引所於

テ之ヲ決算シテ双方ヘ引渡シ此約定ヲ終ル可シ

第十四條

右見分ノ節精米ノ内ニテ三割ヨリ多カラサレ不熟腐爛痛米ヲ
含マハ市中通例ノ引石ヲ以テ取引所為ス可シ尤モ此惡米三
割ヨリ多キ片ハ其分ニ取引所為サス賣方ヨリ代米ヲ出サシム
ヘシ若シ賣方以代米ヲ五日ノ内ニ出サレハ取引所ニ於テ之ヲ
違約人トシテ其處置ヲ為ス可シ

第十五條

賣買双方ニテ見分ニタル後ニ關取ヲ以テ蔵所ノ順番ヲ定メ兩
天ヲ除キ其受渡シヲ為ス可シ但一日受渡ノ俵數ハ賣買
總高ニ見合ハセ取引所於テ其割合ヲ定メ双方ニ通達スヘシ
賣買主并取引所掛ノ者立會ニテ見分済ニ封印シタル上其

米穀賣方亦有タルニ其後異變アル氏賣方ハ關係セカ
ルヘシ

第十六條

米請渡ノ場所ハ取引所附属蔵ノ外ハ浅草所蔵深川筋
一圓并一石橋ヨリ大川橋迄ノ間横川十所通リ河岸附
ノ蔵所ヲ用ユヘシ

相場流高下之甚處分之事

第十七條

若シ賣買ノ取組中ニ天然ノ流高下アルカ或ハ社員内ニ穩
カナラサル賣買ヲ成スヘアラハ假令ハ商業ノ中途ヨリ肝
煎ハ時宜ニ寄リ證據金ヲ増サセ猶ホ其商業ノ平直ナラ
サルヲ見留ハ其者ノ手合ヲ留メ別段ノ證據金ヲ出サ

シムルヲ得ベシ

若シ天然ニ悖リタル乱高下ノ相場アル時ハ一切ニ賣買ノ利扱
ヲ許サス又相對ヲ以テ大數ノ賣買ヲ附々替フルヲ許サ
ス肝煎ハ若シ其商業ノ平直ナラサルヲ見留メハ其者ニ限リ
分外ノ證據金ヲ出シムルヲ得ベシ

社員之事

第十八條

肝煎ハ総社員ノ中ヨリ社員取締役ヲ選舉スルニ此取締役ハ総
テ肝煎ノ指令ヲ受ケ賣買上ノ紛議ヲ鎮定シ社員ノ進退及
賣買上ノ諸般ヲ關係スヘシ

第十九條

當取引所ノ社員ニ新入シ或ハ復社セント欲スル者ハ書面ヲ以

社員取締役ヲ經テ肝煎ニ申出ヘシ此書面ニ姓名宿所年齢
高業等ヲ記シテ其證人及請人等連印ヲ要スヘシ

肝煎ニ定數集會ニ於テ取引所ノ社員トナシテ相當ナリト思考
スヘキ人物ヲ社員ニ新任シ或ハ後社セシムヘシ

但其新任後任ハ八日間取引所ニ揭示報告シテ後テ之処
置スヘシ

當取引所ニ新入ル社員ノ身元金ハ五百圓ト取極ムヘシ但社員
身元金ハ悉ク銀行に預ケ其利未ヲ社員ニ附與スヘシ尤無年
二月八月兩度ニ計美ヲナスヘシ

第二十條

株主ト金取直ニ社員タルヲ許サズ若社員タルヲ欲セハ更ニ身元
金差出及一般ノ順序ヲ經テ社員ニ新任スルヲ得ヘシ

社員新任後任其順序ヲ經テ故降ナキモノハ期限間ハ退社
ヲセフモノハ無年二月八月ニ限ルヘシ

違約人之事

第二十一條

賣買取組ミシ即日半證拠金モ差出サレモノハ手合ニ戻シテ
其モノ身元金取上テ相手方ニ配賦シ當人ハ除社スヘシ

相場高下ニ應シ追證拠金差出サレモノハ必成規第六條ノ趣
意ニ從ヒ其日ノ相場ヲ以テ賣買戻シテ為シ支マテノ證拠金半ノ

身元金ニテ其不足ノ間金ヲ取立テ殘金ヲハ當人ニ返却シテ
之ヲ除社スベシ但シ右ニテ不足金ヲ六其分ハ相手方ニ割合シテ

算セシムヘシ

第二十二條

社員取締役ニテ賣買成シテ成ニ事故アリテ止ラ得ズ時日遅延
ストモ具取計ヒ日ノ相場ヲ以テ計算スヘキニ自社員等ハ之違背
アルヘカラス

賣買取組期限ニ臨ミ其當日午後四時迄ニ蔵所銘柄附差出
サレカ九分金差出サレモノハ之ヲ違約人ト見做シ證據批金増證
批金共取上テ相手方江相渡スヘシ尤時間差ハ双方トモ日没
ヲ以テ極トス

但社員ハ一名ニテ客方数口ノ注文ヲ請ルナレハ其内規則相守
リ支部分ハ異議ナク請渡シテタチセ又違約セシハ本文
ノ処置ニスヘシ

第二十三條

不熟腐化痛米ノ惡性三割ヨリ多クシテ其代米ヲ五日

間ニ差出サレバ之違約人ト見做シ銘柄蔵付差出サレモノト同新
ノ處置スヘシ

第二十四條

請渡期限ニ至リ米穀見分ノ際銘柄ニ違ヒラズ格付
通りニ取行フヘシ若シ蔵所ニ相違アレハ拾石ニ付金売
四宛ノ謝金ヲ相手方ニ渡シタル上ニテ取引ヲ為スヘシ尤蔵
付番号ノ相違ハ謝金ニアラス

第二十五條

前條請渡ノ際品柄ノ善惡ニ付キ賣買方ノ論議及對
シテ亦該ニ決シ難キ時ハ取引所ノ頭取ハ肝煎ノ衆議ニテ
至當ナリトスル所ヲ以テ之ヲ決判シ其取扱ニ隨ハシムヘシ若シ決
判ニ服セサル者アラハ之ヲ違約人トシテ預リ置タル證據批金

ヲ相手方江渡シ破約ノ償トナシ其身元金ヲ取上クヘシ
社員ハ各以成規ヲ了知スル勿論タリ凡其容先ハ篤ト申キ
カセテ注文ヲ受合フヘシ故ニ皆取引所ノ社員タル者以成
規ニ兼諾ノ調印ヲ為サシメ置クヘシ

成規改正之事

第廿六條

以成規ニ洩ルル条件アルカ又ハ之ヲ改正セント欲スルノ事ハ
頭取副頭取肝煎及ヒ社員取締等ノ衆議ヲ以テ
之ヲ考定シ其時々公許ヲ乞フテ之ヲ増補スヘシ

右東京米穀取引所成規ハ之ヲ三通ニ認メ本紙一
通寫一通ヲ上呈シ他一通ハ同文言ニテ楷ニ之ヲ

取引所ニ藏メ置候仍テ其保証ノ為私共自ラ記名調
印致候也

明治八年

東京米穀取引所

支配人

副頭取

頭取

郷國債頭取



Small white paper fragment or tear on the left side.

Handwritten scribbles or faint markings on the left side.

Small white paper fragment or tear on the left side.

Faint handwritten markings on the right side.

